

GENERAL MAINTENANCE CATALOG



総合メンテナンスカタログ



地球の恵みを、社会の望みに。

 **エアウォーター防災株式会社**

東京 | 〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目12番3号
TEL.03-5435-7921 FAX.03-5435-7915

大阪 | 〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目1番3号
TEL.06-6394-9521 FAX.06-6394-9532

名古屋 | 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5丁目5番15号
TEL.052-262-5371 FAX.052-262-5375

仙台 | 〒984-0031 宮城県仙台市若林区六丁目字南97番3号
TEL.022-288-5012 FAX.022-287-3077

広島 | 〒732-0814 広島県広島市南区段原南1丁目3番53号
TEL.082-264-3565 FAX.082-264-3568

福岡 | 〒812-0895 福岡県福岡市博多区竹下4丁目7番27号
TEL.092-483-7510 FAX.092-483-7513

札幌 | 〒001-0010 北海道札幌市北区北十条西3丁目1番1号
TEL.011-708-2325 FAX.011-708-2326

神戸工場 | 〒651-2271 兵庫県神戸市西区高塚台3丁目2番地16
TEL.078-992-1400 FAX.078-993-2076

<https://awb.co.jp/>

202503-AMSS-01

医療空間の、今と未来を編む

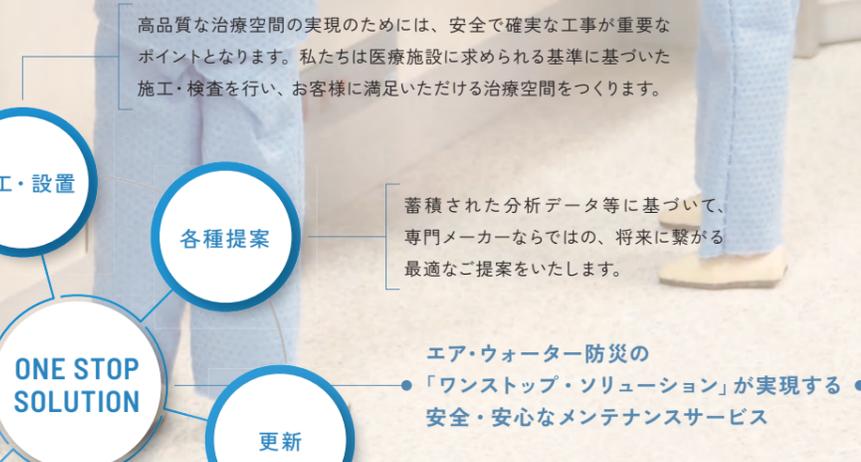


見えない不安を、見える安心へ。

患者さんの生命維持に直結する医療ガス設備、手術室・ICUなどの清潔管理区域で使用される医療器具設備・電気設備・空調設備などについて、いつでも安全・安心にお使いいただけるよう、医療ガス・電気設備の専門メーカーとして培ってきた確かな技術、豊富な実績を礎に、命の現場を守り抜くトータルサポートをご提供しています。

CONTENTS

- 1 病院メンテナンスマップ 04
- 2 エア・ウォーター防災のワンストップ・メンテナンスサービス 06
- 3 無影灯・シーリングペンダント 08
 - 無影灯 08
 - シーリングペンダント 09
- 4 電気設備 10
- 5 手術室埋込器具 12
 - 保温庫 12
 - 保冷库・冷凍庫 12
 - オベタイマー 13
 - 情報パネル 13
 - 手術室環境支援システム 13
- 6 空調設備 / 清潔環境管理 14
- 7 自動ドア / 手洗い流しユニット 15
- 8 医療ガス設備 16
- 9 放射線安全管理設備 18
- 10 感染系排水処理システム 19



設備・機器を安全・安心にお使いいただけるよう、お客様のニーズに合わせた適切な保守点検・メンテナンスサービスをご提案しています。

施工・設置

各種提案

更新

保守点検
メンテナンス

修繕

医療設備機器の機能を十分に活かし、「長く・安全に・効果的に」お使いいただくための保守点検・メンテナンスを実施します。

定期的なメンテナンス、適切な予防保全を行うことで、病院の機能停止を防ぎ、設備機器の寿命を延ばします。

高品質な治療空間の実現のためには、安全で確実な工事が重要なポイントとなります。私たちは医療施設に求められる基準に基づいた施工・検査を行い、お客様に満足いただける治療空間をつくれます。

蓄積された分析データ等に基づいて、専門メーカーならではの、将来に繋がる最適なご提案をいたします。

設備機器の老朽劣化に伴う摩耗故障を防ぐため、最適なタイミングでの更新提案を行います。

無影灯・シーリングペンダント

電気設備

手術室埋込器具

空調設備

清潔環境管理

自動ドア

手洗い流しユニット

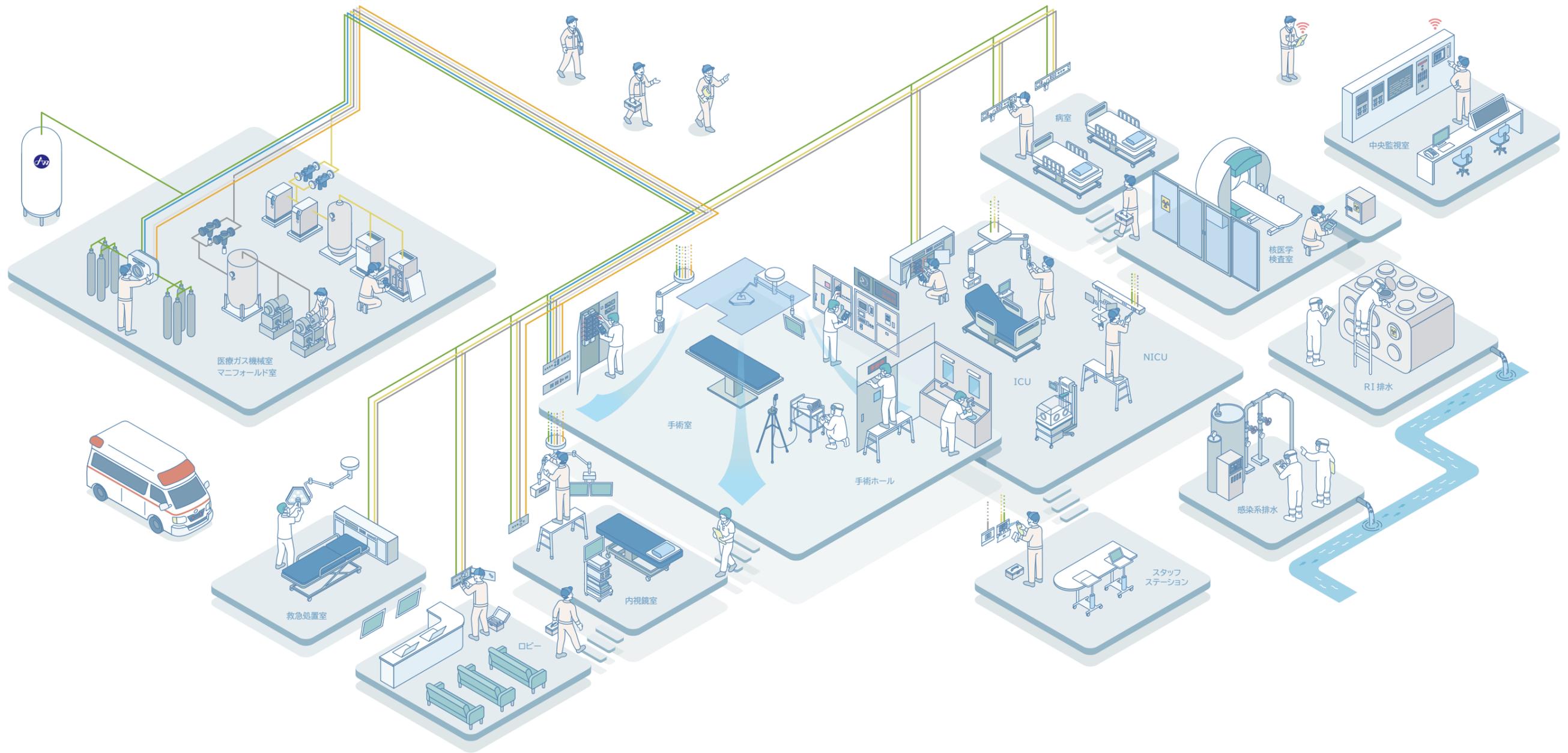
医療ガス設備

放射線安全管理設備

感染系排水処理システム



サービス拠点：
東京・大阪・名古屋・札幌・仙台・京都 *RI設備のみ
広島・福岡・神戸



電気設備



日本産業規格「病院電気設備の安全基準 (JIS T 1022:2023)」に基づいた検査・保守を行い、安全で適切な電気設備を維持します。

医療ガス設備



厚生労働省医政局長通知「医療ガスの安全管理について」および、日本産業・医療ガス協会が定めた指針に基づく点検を行います。

無影灯



無影灯のアームが固定できない、暗くなる、動かすと音が鳴るといった不具合を、定期的な点検によって未然に防ぎ、最適な環境を整えます。

シーリングペンダント



シーリングペンダントのアーム内には医療ガス、電気・映像など、数多くのエネルギーが供給されています。エネルギーが途絶することのないよう、見えぬ箇所まで徹底的にメンテナンスを行います。

保温庫・保冷库・冷凍庫



各機能の確認と消耗品の確認を行い、安心してご使用いただける環境を整えます。

手洗い流しユニット



感染対策の基本である手洗い環境を継続して維持できるよう、徹底した作業的・確実なご提案を行います。

放射線安全管理設備



RI施設の設計・施工から完成後の運用まで、豊富な経験と技術力でお客様を全面的にサポートします。

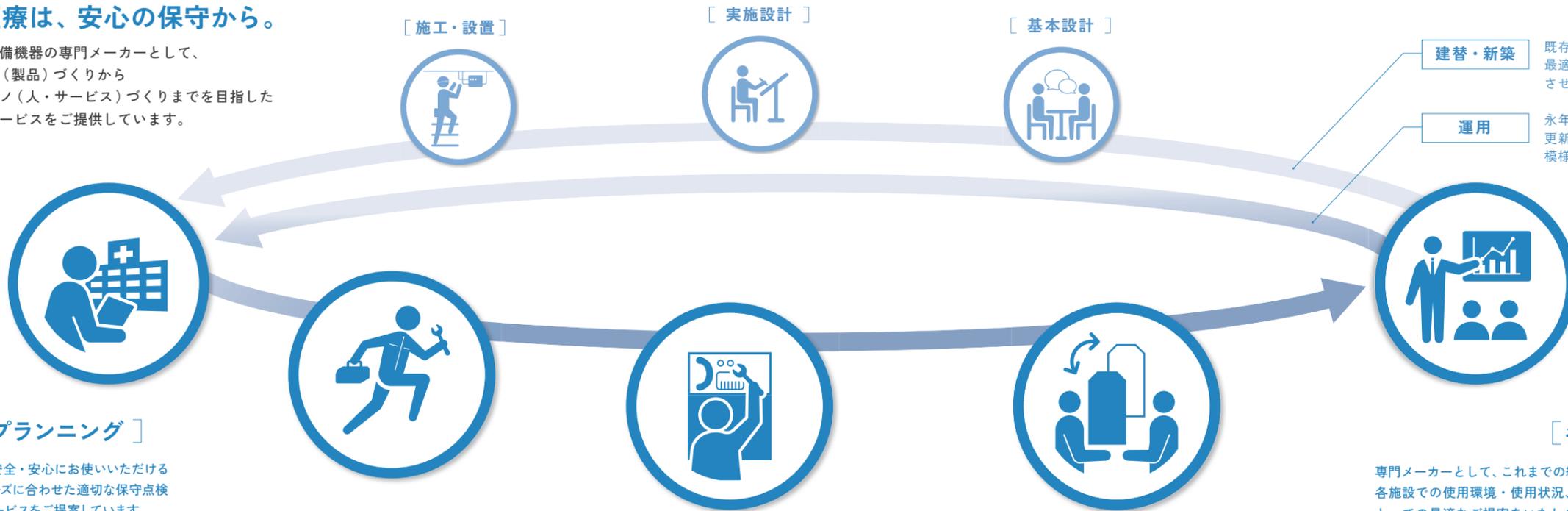
清潔環境管理



清浄度の確認や日常消毒では実施が難しい高所の清掃・消毒を実施し、定期的に清潔環境を保ちます。

安心の医療は、安心の保守から。

私たちは医療設備機器の専門メーカーとして、目に見えるモノ（製品）づくりから目に見えないモノ（人・サービス）づくりまでを目指したワンストップサービスをご提供しています。



建替・新築

既存設備のサポート状況を基に、建替・新築の際にも最適な運用が行われるよう、計画の段階からサポートさせていただきます。

運用

永年の経験と実績を基に、計画的な運用（保守・修繕・更新）だけでなく、リニューアル提案（増床・増築・模様替え等）も含めて、サポートさせていただきます。

各種提案

専門メーカーとして、これまでの経験を活かすことはもちろん、世の中のトレンドや各施設での使用環境・使用状況、蓄積されたデータ等に基づいて、各々の病院にとっての最適なお提案をいたします。

運用プランニング

医療設備機器を安全・安心にお使いいただけるよう、お客様のニーズに合わせた適切な保守点検・メンテナンスサービスをご提案しています。



設備修繕計画表

点検作業手順書

納入した医療設備機器をいつでも安心してお使いいただける環境をご提供することも、当社の大切な役割であり責務です。永年の経験と実績をもつメーカーとしての専門性を活かし、当社が考えるお客様に応じたベストなメンテナンスプランをご提案いたします。



保守点検・メンテナンス

医療設備機器の機能を十分に活かし「長く・安全に・効果的に」お使いいただくための保守点検・メンテナンスを実施します。

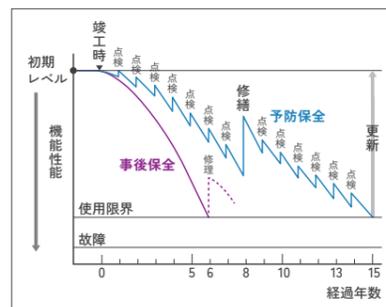


医療設備機器の点検・修理に専門的に従事しているノウハウを備えた技術員が、的確で適切な保守点検を行います。



修繕

定期的なメンテナンス、適切な予防保全を行うことで、病院の機能停止を防ぎ、医療設備機器の寿命を延ばします。



設備機器寿命の延伸イメージ

予防保全

故障する前の定期点検、修理交換

- ① 機器の損耗や性能の変化をいち早く察知し、回復します
- ② 故障の発生を未然に防ぎます
- ③ 設備機器の信頼性を高め、寿命を延ばします

事後保全

故障してからの修理

- ① 経年劣化による不具合発生リスクが高くなります
- ② 不具合発生時の修理費や時間的損失が増します
- ③ 設備機器の寿命が短くなります

更新

医療設備機器の老朽化により修繕では機能の回復が見込めない場合、摩耗故障による医療の途絶を防ぐため、最適なタイミングでの更新提案をいたします。



更新提案書



患者さんの生命維持に直結する医療ガス設備についても、決して供給途絶が起こらないよう、専門技術員による確実な点検保守、適切な更新提案、入替作業を行います。



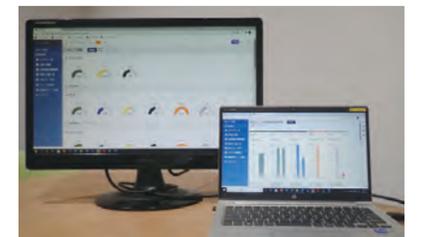
無影灯点検報告書

无影灯は、各シリアルごとの細かな使用状況を“見える化”したうえで、病院様の規模・使用頻度に応じた最適な保守計画のご提案をいたします。オンコールの低減にも繋がります。



改修計画書

手術手技の変化、医療機器の進化により、手術環境は大きく変化しています。私たちは現場スタッフ様へのヒヤリングに基づいて作成した計画書をもとに、最適な手術環境を整えるためのお手伝いをさせていただきます。



医療ガス設備遠隔システム「AMstation」に蓄積された医療ガスの使用量、供給源設備の運転時間・発停回数などのデータから、設備・コストの両面で使用環境に最適な機器選定・予算計画が可能となります。



設備機器点検表

「AMstation」によるデータに加え、定期点検で確認する各機器のより細かなデータを基に、現状の使い方に関わりなく近い仕様での提案が可能です。

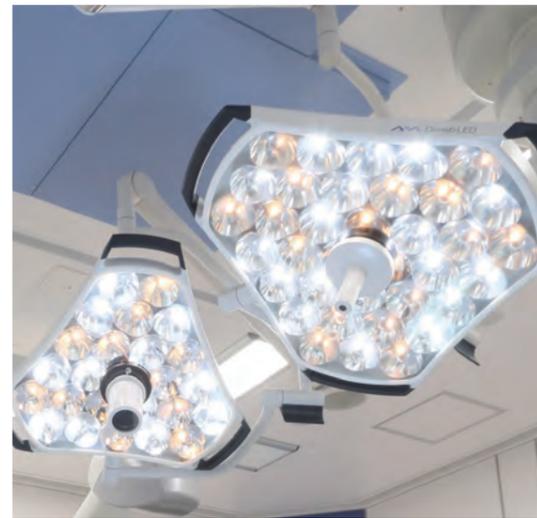
3 無影灯 / シーリングペンダント

厚生労働省令で「特定保守管理医療機器」が規定されており、無影灯はクラスIに該当します。
シーリングペンダントは様々な配線、医療ガスホースがアーム内に配線されています。
このような手術室に欠かせない機器の不具合を未然に防ぎ、より長くご使用いただくために定期的な保守点検をご提案いたします。

無影灯

薬機法で指定された医療機器に添付されている「医療機器添付文書」「修理・点検マニュアル」に基づく機器点検を行います。

- [保守内容]
- アームの回転、昇降の動作確認
 - ブレーキ動作の確認
 - 可動部のグリスによる液漏れの確認
 - 各電極部の接続確認
 - 各アーム接続部の導通確認
 - 入出力電圧の測定
 - 壁面調光パネルによる動作確認
 - 各リフレクター内の LED ランプ切れ確認
 - グリップ操作による動作確認
 - 最大照度の確認



手術用無影灯は【特定保守管理医療機器】とされ、「医療機器のうち保守点検、修理その他の管理に専門的な知識及び技能を必要とすることから、その適正な管理が行われなければ疾病の診断、治療または予防に重大な影響を与える恐れがあるもの」と定義されています（薬機法第2条第8項）。



毎年定期的にデータを取得することで、エラーの履歴確認、LEDの点灯時間などが見える化され、使用状態を把握することが可能です。



使用年数により、各所のネジの緩みも確認されています。より安全にご使用いただくために、各固定箇所の増し締め確認を行います。

シーリングペンダント

シーリングペンダントは、アーム内に医療ガス・電気・弱電・映像配線など、様々なホース・ケーブルが配線されています。外部から見えない箇所になりますので、定期的な点検・事前補修を行い、業務に支障のない状態を維持します。

- [保守内容]
- アームの回転、昇降の動作確認
 - ブレーキ動作の確認
 - 昇降ネジ部のグリス切れの確認
 - 電源線の劣化や損傷の確認
 - ストッパーの状態確認
 - ガスホースの劣化や傷みの確認
 - 過電流警報装置の動作確認
 - 昇降モーターなどの主要部の確認



保守点検を行わないことのリスク〈実例〉

オンコール内容：「吸引に既定の圧力が出ない」とのご連絡

ストッパー正常状態



ストッパーが折れていたことが原因でアームが360°回転していた



アームが360°回転してしまい、医療ガスのホース他、電源線が巻き付いていた状態



上記実例の不良箇所・原因箇所は、外観からは確認できない部分になります。今回の場合、定期点検を実施していれば未然に防ぐことができた内容となります。私たちは、皆さまに安全に・快適に機器を使用いただけるよう、修理を未然に防ぐご提案を行っていきます。



4 電気設備

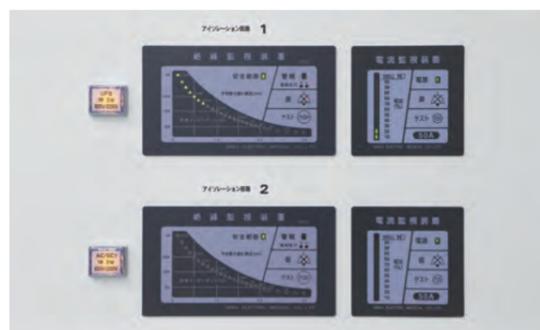
日本産業規格「病院電気設備の安全基準（JIS T 1022：2023）」に基づく手術室・ICUの電気設備環境の測定、定期点検、緊急修理での障害箇所の特定、復旧を行います。適切な電気設備の維持のため、保守点検のご提案をいたします。

アイソレーションユニット

病院電気設備の安全基準に基づき、医療機器等を接続する電気設備における安全確保は必須項目となっていることから、これらの監視装置について、安全担保の保守点検を行います。

【保守内容】

- アイソレーションユニットの点検
 - ① 絶縁監視装置
 - ・ 外観および取付状態点検
 - ・ 接続配線および接続コネクタ点検
 - ・ 漏電検出警報発報試験
 - ・ 漏電検出機能精度測定（漏電疑似試験）
 - ② 電流監視装置
 - ・ 外観および取付状態点検
 - ・ 接続配線および接続コネクタ点検
 - ・ 過電流警報発報試験
 - ・ 過電流検出機能精度測定（負荷試験）
 - ③ 絶縁トランス
 - ・ トランス1次側入力および2次側出力電圧値の測定
 - ・ トランスの絶縁抵抗測定
 - ・ 接続配線端子台緩み確認および増し締め
 - ・ 筐体外観点検および異音確認
 - ④ コンセントモジュール
 - ・ コンセント外観および取付緩み点検
 - ・ 各コンセント回路の絶縁抵抗測定
 - ・ コンセント出力電圧値測定



等電位接地測定

医療分野においては、患者治療時のマイクロショック事故防止のため、電流の想定外の回り込みを防ぐ必要があります。接地抵抗の測定管理を行い、接地の安全性を確保します。

- 【保守内容】
 - 等電位接地抵抗の測定点検（予め、決められた測定点を図面で確認し実施）
 - アースセンターの結線状況確認
 - 接地端子の結線状況確認
 - コンセントの結線状況確認



手術室・ICUの電気設備

ME機器の安全には適切な電気設備が不可欠です。重要なME機器用のコンセントは、アイソレーションユニットの非接地系回路から電源供給されます。この回路には電流監視装置、過電流警報装置が装備され、使い過ぎによりブレーカーが遮断する前に警報を出し、電源遮断を未然に防ぎます。設備機器の電源は接地系回路から供給されます。これら医用室で使用される接地・配線システム、警報装置、設備機器を定期的に点検保守することで適切な電気設備の維持が可能になります。

※非接地系電源回路コンセントを装備した機器例

シーリングペンダント



メディカルハンガー



シーリングレールシステム



コンセントモジュール



※接地系電源回路の機器例

保温庫



保冷库



冷凍庫



オペタイマー



情報パネル



保守点検を行わないことのリスク

以下の写真のように、監視装置の誤動作やコンセント・医用接地端子の不具合により、感電等が発生する恐れがあります。



絶縁監視装置【検出異常】



医用接地端子【変形】



コンセント【経年劣化】

5 手術室埋込器具

手術室には様々な機器が設置されています。
そのような機器を常に最善の状態でご使用いただくためには、定期的な保守点検が不可欠です。
皆さまに確かな安全・安心をご提供できるよう、さまざまなプランをご提案いたします。

保温庫

薬機法で医療機器に指定されている保温庫は、品質管理基準に準拠した「修理・点検マニュアル」に沿って機器点検を行います。

- [保守内容]
- 本体の損傷、へこみによる機械的安全の確認
- 入力電圧値の測定
- 絶縁抵抗値の測定
- 庫内温度制御機器の作動確認
- ドアパッキン、密閉ハンドルの状態確認
- 温度表示および温度制御範囲の確認
- 各警報検出時のランプ点灯確認
- 庫内ファンの作動確認
- ヒーターの作動および電流値測定



保冷库・冷凍庫

フロン排出抑制法等に基づき、適切な保冷・冷凍機能を維持し、正常な運転状態を保持するために保守点検を行います。

- [保守内容]
- 本体の損傷、へこみによる機械的安全の確認
- 入力電圧値の測定
- 絶縁抵抗値の測定
- ドアパッキン、密閉ハンドルの状態確認
- 温度表示および温度制御範囲の確認
- 各警報検出時のランプ点灯確認
- 庫内ファンの作動確認
- 冷凍機の電流値測定
- 冷凍機および凝縮器配管部のガス漏れ確認
- 定期的な消耗部品の交換



オペタイマー

手術における麻酔時間等の管理について、適正な機能を維持し、正常な運転状態を保持するために保守点検を行います。

- [保守内容]
- 本体の損傷、へこみによる機械的安全の確認
- 入力電圧値の測定
- 電源線の劣化や損傷の確認
- コントロールパネルによる動作確認
- 電源遮断時のバックアップ動作確認
- アナログ時計の現在時刻調整



情報パネル

空調・照明・オペタイマー・無影灯などの操作盤を集約しているため、各種動作表示やスイッチ部の機能について、保守点検を行います。

- [保守内容]
- 情報パネル内、操作盤・スイッチ等の確認
- 記録台ダンパーの動作確認
- 天井照明スイッチの操作確認
- 調光スイッチの動作確認
- オペタイマーコントロールパネルの操作確認



手術室環境支援システム

手術室環境支援システムは、手術室内の安全性を維持するために常時手術室浮遊微粒子数に応じた室内空調の制御、電気設備漏れ電流状況の常時監視等を行っています。定期点検では各接続機器（空調、電気設備等）との連動（表示数値の誤差）を確認し、不具合を未然に防ぐことで、より安全な手術室環境を提供いたします。

- [保守内容]
- 空調設備の動作、連動確認
- パーティクルカウンターの動作確認・消耗部品の交換
- 電流監視装置との連動確認
- 絶縁監視装置との連動確認
- 差圧計との連動確認
- 保温庫・保冷库の温度状況連動確認



保守点検を行わないことのリスク

以下の写真のように、保冷库・冷凍庫の消耗部品劣化により、冷却機能不良などの症状を招く可能性があります。計画的に消耗部品（リレー、キャパシタ、ファン等）を交換をすることで事前に不具合を回避することができ、業務に影響の出ない環境をご提供いたします。



温度調節器の不良



冷凍機の凍結による温度調節不能



キャパシタの動作不良によるコンプレッサー動作不能



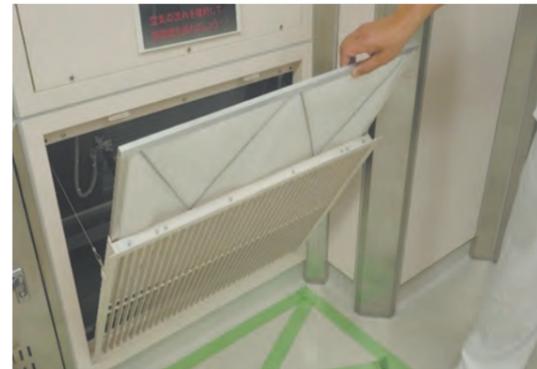
クーラー部の腐食による冷却機能の低下

6 空調設備 / 清潔環境管理

病院建築設備の中で空調（空調）は、空気感染防止と強い関わりがあり、適切な管理が必要です。
手術室では、感染防止の観点からの空気清浄と、術式に応じた最適な温湿度環境をコントロールする必要があります。

空調設備

- [保守内容]
- エアフィルターの清掃
 - 排水状態および水漏れ有無の確認、清掃
 - ファン、サーモスタットの動作確認
 - ファンベアリングの状態、異音有無の確認
 - 膨張弁の状態確認
 - 電気系統の電圧／電流値測定
 - リモコンとの連動確認
 - 冷媒配管部のガス漏れ確認
 - エラーコードの履歴確認



清潔環境管理

[保守内容（測定項目）]

- 室内循環風速・風量測定
手術室に供給される清浄空気が設計値通りの風量を有しているか、また、術野の清浄度を確保するための風速が出ているかの測定を行います
- 差圧測定
手術室が隣接する区域に対して、陽圧を保っているかを確認します
- 室内温度・湿度測定
手術室内の温度・湿度が手術実施に最適な状態かどうかの測定を行います
- 浮遊微粒子数測定
空気中の浮遊微粒子の数を測定し、その手術室が設計時の清浄度を保っているかの確認を行います
- HEPA フィルター走査リーク測定
HEPA フィルターの濾材であるガラスペーパーの経年疲労による穿孔、フィルターとフィルターの接合面についているガスケットの劣化による隙間から塵埃がそのまま手術室に漏れていないかどうかを確認します
- 清浄度回復性能測定
試験用の塵埃を手術室内に散布して、擬似的に清浄度が低下した状況をつくり、設計時の清浄度まで回復する時間を測定します
- 騒音測定
手術室内の騒音値を測定し、室内に設置されている空調機等に異常がないかを確認します



■ 清浄度規格 (ISO 14644-1:1999, JIS B 9920:2002)

- Point 1** 清浄度ゾーニングに基づいた空気の管理で、感染防止をすすめるうえで非常に重要です。設計時の空調性能を図面で確認（まずは現状を把握することが大切です）
- Point 2** お部屋が設計清浄度どおりに機能しているかの確認（メンテナンス箇所の確認・保守管理の確立）
- Point 3** 結果による清浄度レベルに合わせた日常・定期清掃方法の確立、メンテナンス

清浄度クラス	指定粒径以上の許容粒子濃度 (個 / m ³)					
	0.1 (μm)	0.2 (μm)	0.3 (μm)	0.5 (μm)	1 (μm)	5 (μm)
ISO クラス 1	10	2	—	—	—	—
ISO クラス 2	100	24	10	4	—	—
ISO クラス 3	1000	237	102	35	8	—
ISO クラス 4	10000	2370	1020	352	83	—
ISO クラス 5	100000	23700	10200	3520	832	29.3
ISO クラス 6	1000000	237000	102000	35200	8320	293
ISO クラス 7	—	—	—	352000	83200	2930
ISO クラス 8	—	—	—	3520000	832000	29300
ISO クラス 9	—	—	—	—	8320000	293000

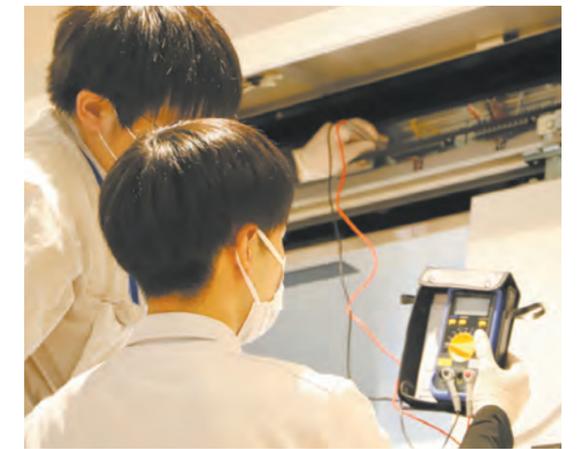
7 自動ドア / 手洗い流しユニット

機器本体の機能を十分に活かし、常に最善の状態でご使用いただくためには、定期的な保守点検が不可欠です。
保守点検を実施することにより、不具合を未然に防ぎ、長く安全・効果的にお使いいただけるよう、ご提案いたします。

自動ドア

自動ドアの安全性を維持するために、「JIS A 4722:2017 | 7.2 保全点検」では日常的な点検・清掃に加え、製造業者の保全要領書に規定する周期で、専門業者による定期的な点検・保全を実施することが求められています。

- [保守内容]
- ドア・サッシ部の変形・異音確認
 - エンジン部の各所確認・補修
 - 制御装置内容の現状確認・再設定
 - センサー部の範囲確認
 - 電気回路の電圧測定・絶縁抵抗測定 他



手洗い流しユニット

薬機法で指定された医療機器に添付されている「医療機器添付文書」「修理・点検マニュアル」に基づく機器点検を行います。

- [保守内容]
- フィルターの状態確認および交換
 - 殺菌灯の状態確認および交換
 - 配管接続部の水漏れ確認
 - 石英ガラスの状態確認
 - 漏電ブレーカーの動作確認
 - 温度設定の動作確認
 - ストレーナーの詰まり確認
 - シャワー口の目詰まり確認
 - 光電スイッチによる動作確認
 - 制御ユニットの動作確認
 - 電磁弁ユニットの動作確認 他



殺菌水製造装置は【特定保守管理医療機器】とされ、「医療機器のうち保守点検、修理その他の管理に専門的な知識及び技能を必要とすることから、その適正な管理が行われなければ疾病の診断、治療または予防に重大な影響を与える恐れがあるもの」と定義されています（薬機法第2条第8項）。



8 医療ガス設備

医療用ガス保守点検業務は、医療法施行令による「診療等の著しい影響を与える業務」として、政令8業務のひとつに位置づけられています。そのため、医療施設には「医療ガスの安全管理について」（厚生労働省医政局長通知）の「医療ガス設備の保守点検指針」に則った法令点検の実施が義務づけられています。当社では、保守点検・消耗品交換・修繕提案といった医療ガス設備の総合的なメンテナンスサービスをご提供しています。

私たちは1957（昭和32）年に国産として初めての「医療ガス供給設備」を世に送り出して以来、医療ガスという患者さんの生命に直結する重要な設備のバイオン企業として、永年のノウハウと実績を積み重ねてきました。常にメーカー目線で「どうすれば、より安全で、より良い設備をお客様に提供できるか」を考えながらメンテナンスを行い、製品の改良・開発、当社の「保守点検サービス」への信頼と質の向上に、日々取り組んでいます。

医療ガス設備の保守点検業務は、専門メーカーである当社へお任せください！

当社は、医療用ガス供給設備の保守点検業務について、（財）医療関連サービス振興会の認定業者登録を行い、医療機関の設備に適合した確かな保守点検を実施しています。



医療関連サービスマーク

<p>トラブルの際は 24時間 365日対応</p>	<p>保守メンテナンス業者として 病院様の医療ガス安全管理 委員会に出席し、お客様と 一体となって、安全について 取り組んでいます。</p>	<p>迅速なサービス・ 部品供給を可能にした バックアップ体制</p>	<p>医療ガス協会の会員として JISの作成などに携わり、 最新の規格に基づいて設備 機器の安全な製造・施工を 行っています。</p>
------------------------------------	--	---	---

[保守内容]

項目	回数	内容	点検サイクルの例			
			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
3か月点検	年4回	外観上の損傷・異常・異音の有無、圧力・流量の確認を主体に行います	●	●	●	●
6か月点検	年2回	3か月点検の内容に加えて、設備の作動確認や調整を主体に行います		●		●
1年点検	年1回	供給装置や端末器の内部まで詳細に確認し、適切な修繕・更新時期をお知らせします				●
消耗部品交換	年1回	施設の状況に応じた必要最低限の消耗品交換を実施し、機器の長寿命化を実現します				●

[メンテナンス部門のあゆみ]



国産初の医療ガス設備メーカー

メンテナンス部門の発足以降、厚生省からの715通知の発出による点検の法令化、医療関連サービス振興会による第三者機関の評価制度など、医療現場に即した質の高い技術が求められるようになりました。

1973



現場に負担をかけない
アウトレットの開発

1994

アウトレットを外すと自動的にガスが止まるよう、自動閉止弁機構を備えています。これにより交換作業時間の短縮とポンベの準備や切替作業が不要になるなど、医療スタッフや患者さんへの負担を減らすことに貢献しています。

被災した100の病院の点検と応急処置のため、緊急支援隊を現地へ派遣しました。現地の状況を目の当たりにし、改めて原点に戻り、「私たちにできることは何か」を考えるきっかけとなりました。

1995・2011



阪神・淡路大震災発生

2015



埼玉県川越市に新たな工場
関東センター設立

点検時に使用するアウトレット整備品は、消毒・分解・組立・試験までをすべて一つの工場内で完結しているため、安全・安心かつ清潔な製品を出荷しています。また、工場が2拠点あることで、万が一の災害時にもリスク分散による部材の確保ができます。

遠隔監視システム AMstation によりタブレット等で設備の状態をいつでもどこからでもリアルタイムに確認でき、緊急時や災害時にも迅速な対応が可能です。また、データを蓄積することで、より実態に即した修繕・更新のご提案をいたします。

2017



IoT × 医療ガス設備
遠隔監視システム AMstation の開発



国際くらしの医療館・神戸
MIRAI* PARK 開設

2019

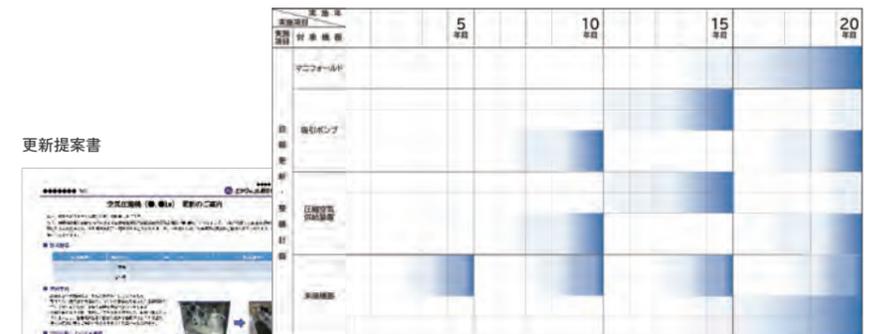
MIRAI*PARKにはリアルな手術室・ICU・NICU・医療ガス設備を備え、実機を用いた検証、可動壁や3D-VRを活用した空間・環境シミュレーションが可能です。また、毎年2回、全国のメンテナンス技術員が集まり、研修やトレーニング、情報交換を行っています。



これまでのすべてを
これからの命に
つなげたい。

これまでの経験や実績を活かした、最適な時期での修繕・更新計画のご提案

医療ガス設備の専門メーカーとして培ってきた経験をもとに、長期的かつ現場の実態に即した最適なタイミングでの修繕・更新計画をご提案いたします。設備機器の保守をすることはもちろん、その先にある患者さんの命、そして現場の方が安心して働ける環境までを守るという考えのもと、「医療ガスの供給を途絶えさせない」・それが私たちメーカーとしての使命です。



LCC (ライフサイクルコスト) 提案イメージ



感染予防対策における取組み - アウトレット部品交換整備 -

各施設のバック交換時に使用するアウトレットは、当社工場にて部品交換整備した整備品を使用しています。当社では施設から返却されるアウトレットについて通常必要となる部品（パッキン/フィルター等）の交換だけでなく、感染予防の観点から、全数の煮沸消毒処理を行っています。また、消毒後は当社基準の作業手順書に従い、締め付けトルク、気密試験、専用工具による作動確認まで細かく設定・管理しており、医療従事者の方々に安心してご使用いただくための品質確保に取り組んでいます。

部品交換整備の流れ

分解 ▶ 煮沸消毒処理 ▶ 部品（パッキン/フィルター等）交換 ▶ 組立 ▶ 作動試験

9 放射線安全管理設備

放射線施設に係る各種法令に準拠し、有資格者による環境測定・点検・メンテナンスを行います。定期メンテナンスのほかに、緊急時の対応も行ってまいります。

- [保守内容]**
- 放射線管理業務の受託
 - RI施設、RI排気設備、RI排水設備の保守・点検、補修工事、排気フィルター交換
 - 放射線モニタリングシステム、放射線測定器の定期点検、校正

放射線施設の主な関係法令

- ◆ 放射性同位元素等規制法 ◆ 医療法
- ◆ 医薬品医療機器等法 ◆ 労働安全衛生法 ◆ 電離放射線障害防止法 ◆ 作業関係測定法 ◆ 消防法 ◆ 下水道法



● 作業環境測定

法律に準拠し、有資格者（作業環境測定士）による測定評価を行います。



表面汚染測定



貯蔵箱線量測定

● 設備点検

専任の技術者が的確な診断を行います。



モニター点検



排気風量測定

● 排気フィルター交換

正しい作業手順により交換を行い、日本アイントープ協会指定の梱包と汚染測定を実施します。



フィルター点検



汚染測定

10 感染系排水処理システム

感染系排水処理設備の保守点検では、毎月1回の清掃と1年に1回の消耗品交換・センサー校正を行います。二次感染を防ぐ重要な設備ですので、点検の徹底が必要となります。

感染系排水は、水質汚濁防止法および廃棄物処置法により、自らの責任で適切に処理することが規定されています。本システムは、オゾンと二酸化塩素薬剤との反応により殺菌消毒し、安全に施設外へ排水するための設備です。定期的な清掃・保守点検を実施することにより、設備の機能と殺菌効果を維持し、感染を防止します。

- [保守内容]**
- 感染系排水設備の定期清掃
 - ポンプ、自動弁などの状態確認
 - フィルターの目詰まり状況の確認
 - 各設備自動運転の動作確認
 - 水位計の作動点検
 - 自動弁の動作確認
 - 処理後の水質の測定
 - 排気オゾン濃度の測定
 - 操作盤の動作確認



お客様に確かな「安全」と「安心」をご提供することが、私たちの「責任」です。

[医療施設様]

日常
点検

+

[当社]

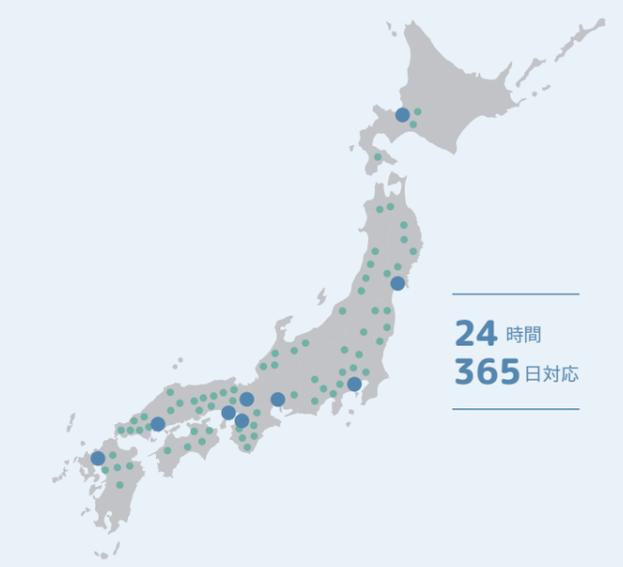
定期
点検

異常の発見



当社専門技術スタッフによる修理の実施

製品の故障や異常が発見された場合には、当社の専門技術スタッフが迅速に対応いたします。また、対応後の更新・改善提案等のアフターフォローもさせていただきます。



● 全国サービスネットワーク

東京・大阪・名古屋・札幌・仙台・京都*RI設備のみ
広島・福岡・神戸

● 関連会社サービス拠点